

平成 29 年度 当初予算主な事業

事業名	「京田辺市展」開催事業		
予算額	2,800	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>芸術家の創作活動の振興を図るとともに、鑑賞機会を提供し、京田辺市の文化の発展に寄与することを目的とする。 第1回京田辺市展は市制20周年に合わせて、その特別記念事業として開催。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>主 催 京田辺市教育委員会 開催部門 (1) 絵画 (2) 書 (3) 写真</p> <p>会 期 平成29年12月7日(木)から10日(日)まで 会 場 中央公民館大ホール</p>		
担当所属名	教育部文化振興室	直通電話番号	64 - 1300

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	京田辺市史編さん事業		
予算額	4,545	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>新規</p> <p>○ 目的</p> <p>昭和43年の『京都府田辺町史』の刊行から約50年、昭和62年の『田辺町近代誌』の刊行から30年、平成9年の市制施行から20年経過する中、最新の知見に基づく見直しや市制施行を経た本市の歴史を辿ることを通じて、ふるさとへの誇りや愛着を育み、地域の将来像を描く基礎とするため、新たな「京田辺市史」の編さんに取り組むもの。 紙媒体に加え、映像・音声・画像データ等先駆的な「IT市史」も作成し、地域文化の振興と発信力を強化する。 なお、京田辺市史編さん事業は「京田辺市文化振興計画」掲載事業。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>平成29年度は市史編さん体制（編さん委員会、専門部会等）を整え、基本方針等を決定し、調査に着手する。</p> <p>1) 市史の編さん期間（予定） 平成29年度～38年度の10年間</p> <p>2) 市史の編さん体制（予定） 市史編さん委員会、専門部会、事務局、市史編さん市民ボランティア ・市史編さん委員会：市史の編さん計画等基本事項を協議。 ・専門部会：調査、研究、原稿執筆等を行う。部会の内訳は、①考古・古代部会、②中世・近世部会、③近代・現代部会、④美術工芸・建造物部会、⑤民俗・地理部会、⑥IT市史部会、の6つ。</p> <p>3) 市史の構成（予定） 本文編3冊、資料編5冊</p> <p>4) 市史編さん事業費及び関連事業費（地方創生推進交付金対象） ・京田辺市史編さん事業〔7,703千円〕（嘱託職員報酬含む） ・京田辺市史編さん（歴史資料整理）ボランティア〔34千円〕＜既存事業＞ ・市制20周年記念市史編さんシンポジウム〔567千円〕 ・京田辺市歴史資料共同調査事業〔504千円〕＜既存事業＞ ・古文書解読入門講座〔0千円〕＜既存事業＞ ・古文書修復ボランティア〔56千円〕 ・市立小学校と歴史団体の連携事業〔55千円〕 【合計】8,919千円</p> <p>※ 過去の編さん事業 ・『大住村史』：昭和21年～26年。全1冊。 ・『京都府田辺町史』：昭和39年～43年。全1冊。 ・『田辺町近代誌』『田辺町近世近代資料集』：昭和58年～62年。各1冊。</p>		
担当所属名	教育部市史編さん室	直通電話番号	64 - 1301

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	市史編さんシンポジウム開催事業		
予算額	568	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>市制20周年を記念して、新たな「京田辺市史」の編さんをスタートするにあたり、市民にアピールし気運を盛り上げ、郷土への愛着を培ってもらうためにシンポジウムを開催するもの。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>市史編さんに協力いただく大学等から登壇者を迎え、市史編さんや京田辺の歴史に関する講演等を行う。また、著名人を特別講師に迎え、歴史に関する特別講演も行う。</p> <p>日時（予定） 平成29年10月</p> <p>場所（予定） 中央公民館大ホール（定員300名）</p> <p>位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市制20周年記念事業 ・ 「京田辺市文化振興計画」記載事業の関連事業 ・ 地方創生推進交付金対象事業 		
担当所属名	教育部市史編さん室	直通電話番号	64 - 1301


平成29年度 当初予算主な事業

事業名	5歳児接続カリキュラム作成事業																																		
予算額	ゼロ予算	新規・拡充 継続の別	新規																																
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>幼稚園・保育所における就学前教育から小学校教育への滑らかな接続を図り、学びの連続性を確保するため、5歳児を対象とした京田辺市独自の「接続カリキュラム」を作成する。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>小学校教諭、幼稚園教諭、保育所保育士などによる検討会議を設置して接続カリキュラムの作成に取り組むほか、本市の特色ある就学前教育体制を生かした実践方法について検討していく。</p> <p>※ その他</p> <p>接続カリキュラムは平成29年度内に作成し、モデル校での実践研究を経て、全市立幼稚園・保育所に導入する。 その後は、3～4歳児を対象とした「幼保共通カリキュラム」の作成に取り組んでいく。</p> <p style="text-align: center;">京田辺市の就学前教育の将来イメージ</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">0歳児</th> <th style="width: 10%;">1歳児</th> <th style="width: 10%;">2歳児</th> <th style="width: 10%;">3歳児</th> <th style="width: 10%;">4歳児</th> <th style="width: 10%;">5歳児</th> <th style="width: 10%;">1年生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">市立小学校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">接続 カリキュラム</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市立幼稚園</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">幼保共通 カリキュラム</td> <td style="text-align: center;">接続 カリキュラム</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">保育所・園</td> <td style="background-color: #f8d7da;"></td> <td style="background-color: #f8d7da;"></td> <td style="background-color: #f8d7da;"></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">幼保共通 カリキュラム</td> <td style="text-align: center;">接続 カリキュラム</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	1年生	市立小学校						接続 カリキュラム		市立幼稚園				幼保共通 カリキュラム		接続 カリキュラム		保育所・園				幼保共通 カリキュラム		接続 カリキュラム	
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	1年生																												
市立小学校						接続 カリキュラム																													
市立幼稚園				幼保共通 カリキュラム		接続 カリキュラム																													
保育所・園				幼保共通 カリキュラム		接続 カリキュラム																													
担当所属名	学校教育課	直通電話番号	64 - 1310																																

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	京田辺市小中学校研究指定事業（仮称）		
予算額	1,950	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○ 目的</p> <p>現在進めている「研究実践モデル校指定事業」が、28－29年度にまとめの時期を迎え、市内全体の子どもの学力等を伸ばしていくために、研究成果の具体的な波及が問われている。また28年度中に示される次期学習指導要領では、小学校英語教育や資質・能力の育成など新しい教育課程の方向性が示される予定となっており、30年度に先行実施される「特別の教科道徳」と共に、その対応準備が喫緊の課題となっている。</p> <p>本市教育の課題解決を根本に、本市の教育を推進し、これからの教育</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>○ 事業概要</p> <p>上記の趣旨を踏まえ、モデル校の成果と課題を整理し、多様な教育的課題の解決に向け、市教委・学校が組織的に取り組むために、教育実践モデル校指定事業に続く新たな研究事業を行う。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">【29年度】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○モデル校事業（H29継続）</p> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>モデル校研究発表 （4年次） 11月29日（水） 桃園小 田辺中・（田辺小） 大住小 薪小</p> <p>継続研究及び新しい研究に向けた先行研究・・・7校</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px;"> </div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px; text-align: center;"> <p>成果波及による 学力・体力等の向上</p> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>○新しい研究事業に向けての検討準備</p> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>検討会議の立ち上げ（12月6日）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 研究目的等の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校の成果・課題 ・これからの教育課題 ・本市の課題 (2) 研究体制 (3) 研究テーマ (4) 調査・準備研究 (5) 研究指定要項の作成 (6) 研究指定校の決定 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px;"> </div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px; text-align: center;"> <p>○新たな教育課題への対応 →子ども達の学力・体力等の向上 →教職員の資質・能力の向上 →学校力の向上</p> </div> </div> </div> <p style="text-align: center;">【30年度】</p> <p style="text-align: center;">新しい研究指定事業のスタート（市内全小中学校）</p>		
担当所属名	教育部 学校教育課	直通電話番号	64 - 1392

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	まるごときょうとの日事業		
予算額	567	千円	新規・拡充 継続の別
継続			
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>地元産食材を利用した学校給食を実施することにより、児童の心身の健全な成長を促すとともに、地域の農業・農村に対する理解を深め地元食材の信頼向上と需要拡大を図る。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>学校給食において使用する農林水産物（牛乳を除く）を全て京都府産とする「まるごときょうとの日」を年間2回実施する。 事業実施の際、食材購入費の一部（1食あたり60円）を市が補助する。</p> <p>事業費 4,717人×60円×2回＝566,040円</p> <p>参考 平成28年7月12日の取り組み</p> <p>【ごはん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京田辺市産：米 <p>【鶏肉のトマト煮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京田辺市産：にんにく、玉ねぎ、なす、じゃがいも、トマト ・京都府産：鶏肉 <p>【地元野菜のサラダ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京田辺市産：小松菜、キュウリ 		
			
担当所属名	学校環境整備課	直通電話番号	64 - 1393

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	小学校お茶育事業		
予算額	216	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>京田辺市の特産品であるお茶について理解を深め、お茶に親しむことを目的とする。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>1 お茶給食 「まるごときょうとの日」などにおいて、京田辺市特産である玉露や抹茶を使った料理を提供する。</p> <p>2 玉露体験事業 全小学校において児童に水出し玉露を飲んで味わうことにより、市特産品の玉露を知るきっかけとする。</p> <p>3 お茶育授業 ペットボトルのお茶が普及する中で、急須でお茶を入れる本来の手順を学ぶことでお茶に関する理解を深める。</p> <p>・ 玉露パック、煎茶、水ペットボトル、紙コップ一式 200,000円×1.08=216,000円</p>		
担当所属名	学校環境整備課	直通電話番号	64 - 1393

平成 29 年度 当初予算主な事業

事業名	松井ヶ丘小学校給食室増築工事		
予算額	11,502	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>松井ヶ丘小学校における児童への給食確保について、現行の給食室のスペースでは今後の児童の増加に対応が困難となるため、増築工事を行うもの</p> <p>○ 事業概要</p> <p>松井ヶ丘小学校について、住宅建築等による児童の増加が見込まれるなか、増加した児童数に対応できる給食を調理するスペースが不足してくることから、対応ができるよう既存の給食室を増築する</p>		
担当所属名	学校環境整備課	直通電話番号	64 - 1393

平成 29 年度 当初予算主な事業

事業名	放課後子ども総合プラン事業		
予算額	150	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>平成 26 年に国で策定された「放課後子ども総合プラン」に係る放課後対策として、より充実した放課後の体験プログラムを実施し、児童の放課後のより一層の充実を計る。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>従前の放課後子どもプラン企画委員や京田辺市生涯学習人材バンクの指導者を「放課後子ども総合プラン企画委員(仮称)」として再編成し、毎週水曜日の放課後に、自主学習の補助と体験活動を組み合わせたプログラムを実施する。 ※ 4 月から 12 月を準備期間とし 3 学期から市内 1 校をモデル校として開催する計画。</p>		
担当所属名	教育部社会教育・スポーツ推進課	直通電話番号	64 - 1394

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	留守家庭児童会運営事業		
予算額	147,509	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p style="padding-left: 20px;">京田辺市立の小学校に通学する児童を保護し、その健全育成を図る。</p> <p>○ 事業概要</p> <p style="padding-left: 20px;">普賢寺小学校を除く市内8小学校にて、当該小学校の通学児童(長期休業時例外あり)を対象に放課後の預かりを行う。平成29年度より年度当初日を開級、必要な保護者に切れ目のない保育環境を提供する。</p>		
担当所属名	社会教育・スポーツ推進課	直通電話番号	64 - 1394

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	文化施設利用助成事業		
予算額	1,400	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p style="padding-left: 20px;">京田辺市立の本格的な舞台発表が可能な文化ホールが無いことから、市民が市立以外の文化施設を使用する際の負担を軽減する。</p> <p>○ 事業概要</p> <p style="padding-left: 20px;">京田辺市に活動拠点を置く団体が、舞台発表を市立以外の施設で行う際に使用料等の二分の一を補助する。</p>		
担当所属名	社会教育・スポーツ推進課	直通電話番号	64 - 1394

平成 29 年度 当初予算主な事業

事業名	京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ開催事業		
予算額	445	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p style="padding-left: 20px;">市と同志社大学の共催で、同志社大学等の持つ知的資源を活用し、市民等に生涯学習の機会を提供する。</p> <p>○ 事業概要</p> <p style="padding-left: 20px;">同志社大学京田辺校地を会場に、年間 4 回程度同志社大学等の教授を講師として無料の講座を行う。</p>		
担当所属名	社会教育・スポーツ推進課	直通電話番号	64 - 1394

平成 29 年度 当初予算主な事業

事業名	京都サンガ応援バスツアー開催事業		
予算額	181	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>市制施行 20 周年を契機に、京都サンガ F.C. が開催するホームタウン京田辺市応援デーにおいてバスツアーを企画し、京都サンガ F.C. の応援を通して、スポーツのまち京田辺の市民へさらなる「見るスポーツ」の推進を図る。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>京都サンガ F.C. が開催する年 1 回のホームタウン京田辺市応援デーにおいてバスツアーを開催し、京田辺市からスタジアムまでの送迎を行うとともに、参加者に応援用タオルを配布する。</p>		
担当所属名	社会教育・スポーツ推進課	直通電話番号	64 - 1394